

No.6 北海道深川市（深川市生きがい文化センター在り方検討事業）

地域力創造アドバイザー	横尾 隆義氏（A629）
活用分野	シティプロモーション・地域PR、少子化対策・子ども・子育て支援、地域づくり人材の育成・教育、自治体経営イノベーション
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1、2回程度）
キーワード	#老朽化施設活用 #公共施設再編 #地域ニーズ分析 #改修方針検討 #文化・学びの場 #子どもの居場所 #関係人口創出 #地域魅力発信 #外部人材活用 #運営可能性検討

【目的】

1992年に開館した複合文化施設「生きがい文化センター」は、築30年以上が経過し老朽化が進んでいます。本事業では、文化活動・学びの場・子どもの遊び場といった機能を踏まえ、今後の活用方針を検討します。

施設の現状と地域ニーズを整理し、改修の必要性や機能の方向性、運営の可能性を明確化することで、地域の魅力向上や利用者層の拡大につながる活用案の基盤を構築します。

【内容】

- ・現状分析と課題整理
- ・改修・機能再編の方向性検討
- ・地域ニーズの把握と分析
- ・財政面・運営面の課題と可能性の整理
- ・地域の魅力発信や関係人口創出につながる活用案の検討
- ・外部人材との連携による専門的な視点や知見の活用

【成果（見込み）】

- ・施設の現状及び課題が体系的に整理される。
- ・地域ニーズに即した機能の方向性が明確化される。
- ・改修及び運営に係る課題と可能性が把握される。
- ・地域の魅力発信及び関係人口創出に資する活用案が検討される。
- ・外部人材の専門的知見により、検討の妥当性と実効性が向上する。



（施設外観）



（パトリアホール）



（郷土資料館）



（市立図書館）

No.54 茨城県桜川市（移住・定住支援等）

地域力創造アドバイザー	横尾 隆義氏（A-629）
活用分野	移住・定住促進、地域づくり人材の育成・教育
活用期間（頻度）	令和7年度～令和9年度（月1,2回程度）
キーワード	#人口減少対策 #移住・定住 #高校連携 #まちづくりワークショップ

【目的】

- ・人口減少対策に対する助言・指導を受け、事業進捗の加速を図る。
- ・人口減少及び在校生の減少対策の一環として、新たに高等学校への支援に向けた事業立案に向けた助言・指導を受ける。

【内容】

- ・人口減少対策に対する助言・指導を受け、事業全体のブラッシュアップを行う。
- ・担当課を中心とし、全庁的な体制強化を目指した助言・指導
- ・高校生を中心とした若者のまちづくり参画を促進するため、高校生を対象としたまちづくりワークショップを定期開催し、若者の元気なまちづくりを目指すコーディネート（公立2校、私立1校他）

【成果（見込み）】

- ・現在の情報発信方策を見直し、移住者目線を徹底した情報発信体制を構築するにあたり、桜川市の観光とは違う訴求ポイント、訴求方法、現状の広報活動に対する改善策についての指導・アドバイス。
- ・「高専生まちづくりワークショップ」を継続的に開催し、高専生がまちづくりに参画する気運を醸成する。市内の高専生及び中学生17名が参加。
- ・同まちづくりワークショップには、市内の私立・公立あるいは、市外に通う高専生の他、地元中学生からの参加の申し込み、地域の中・高の先生及び、メディア、地域教育の事業者まで、幅広い関心を得られると同時に、生徒の意欲向上が図られた。
- ・今後は、本活動の更なる浸透と、PR活動を結びつけることによって、若者の活躍する桜川市としての地域ブランディングを行い移住・定住の促進に繋げてゆく予定。



高専生まちづくりワークショップ

No.72 千葉県・多古町（地域ブランディング推進）

地域力創造アドバイザー	横尾 隆義氏（A629）
活用分野	地域資源を活用した地域経済循環、まちなか再生、生活機能の維持、防災減災・危機管理、観光振興・交流関係人口の創出・拡大、移住・定住促進、少子化対策、子ども・子育て支援、地域づくり人材の育成・教育自治体経営イノベーション、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和6年度～令和8年度（月1、2回程度）
キーワード	#地域ブランド創生 #高校生連携 #古民家活用 #空き家・空き店舗利活用 #地域経済循環 #起業人材育成 #ふるさと納税強化 #地域ブランディング #観光まちづくり

【目的】

地域活性化の取組に関する知見やノウハウを有する外部専門家を招聘しまちの魅力向上を図る。
地域独自の魅力や価値の向上に対する施策を図る。

【内容】

- ・地元高校生と連携した古民家・空き店舗利活用をテーマとする地域ブランド創生事業の企画・実施
- ・ふるさと納税の増額を見据えた制度運営に関する指導・助言
- ・地域ブランディング及び観光プロモーション手法に関する指導・提案



ワークショップの様子

【成果】

- ・地元高校生と連携した地域ブランド創生事業として、月ごとにワークショップを開催。
多古町の魅力発掘や古民家・空き家の利活用に関する具体的な提案が行われた。
あわせて、起業に関する基礎的な知見を学ぶ機会を創出した。
これらの活動の集大成として、令和8年2月に提案事業の一つである「地産地消カフェ」を1日限定で開設する。
- ・ふるさと納税については、次年度に向けた方向性を明確化し、関係課との連携のもとで中間事業者選定や返礼品構成、運営体制に関する整理を実施した。専門的助言を踏まえ、制度運営の基盤強化に向けた検討が進んだ。
- ・地域ブランディングの分野では、多古町観光まちづくり機構と道の駅多古の関係性および運営体制について整理が行われ、道の駅レストランのメニュー構成や両者の連携強化に関する具体的な提案を受けた。

No.115 京都府福知山市（地域のリブランディング）

地域力創造アドバイザー	横尾 隆義氏（A629）
活用分野	観光振興・交流、関係人口の創出・拡大、シティプロモーション・地域PR
活用期間（頻度）	令和7年度～（月1～2回程度）
キーワード	# 魅力発掘 # 地域商業の活性化 # 賑わい創出 # 伴走支援

【目的】

人口減少や人口構造の変化に加え、社会経済情勢に大きな変化が予測される2040年を見据え、地域活性化を強力に推進していく取組として、本市の「魅力」や「資源」を見出すための調査及び調査結果に基づき地域の資源を活用した賑わい創出、観光導線の確立及び関係人口の創出をめざす。

【内容】

本市内、特に大江地域の強みを活かした大江駅のリブランディング計画、誘客計画の立案
リブランディング案で示された、ビジュアル強化アイテムの作成、滞在動機作り施策の実行



ビジュアル強化アイテムの一例

【成果（見込み）】

本事業で立案された施策の実施による大江地域の観光における高付加価値化、来訪者数の増加、来訪者満足度の向上

- 地域をリブランディングする取組みの第一歩として、地域の玄関口となる大江駅および駅構内売店のビジュアルを統一
⇒スタッフTシャツ、のぼり、ショッパー等、キャッチコピーやビジュアルデザイン案を作成
- 地域の大学と連携し、学生との共創による新商品開発
⇒開発段階における助言指導、開発した商品のテストマーケティング実施
- 地域資源である「鬼伝説」を活用した、来訪者が楽しめるコンテンツの作成
⇒すでに取り組んでおられる地域団体とのコラボレーション企画の実施

上記の取組みによる来訪者数の増減や満足度への効果について、令和8年度以降に検証を行う。



大学生が開発した商品を実際に販売



地域団体の取組みとのコラボを展開

No.145 岡山県・真庭市（情報化計画推進事業）

地域力創造アドバイザー	横尾 隆義氏（A629）
活用分野	自治体経営イノベーション（自治体間連携）
活用期間（頻度）	令和6年度～令和7年度（月1、2回程度）
キーワード	#現状分析 #アドバイス #自治体間連携 #ビジネスモデル改革 #事業創出

【目的】

ITに関する地域及び共同運営組織の改革に向けた現状分析、アドバイスを行う。
広域連携組織の岡山中央総合情報公社も含めた自治体間連携のビジネスモデル改革

【内容】

- ・地域及び共同運営組織の改革にむけた現状分析、課題把握へのアドバイス
- ・岡山中央総合情報公社の今後の在り方についての方向性及び事業拡大への助言
- ・自治体連携の在り方、共同運営組織のビジネスモデル改革にむけた研究、アドバイス

【成果（見込み）】

- 自治体連携、共同運営組織のビジネスモデル改革、新たな事業創出
 - ・多くの自治体では、社会インフラ（上下水道・消防等）の広域連携での効率化を実施・検討を図っているが、IT活用に於ける広域連携事例は少なく、また社会変化も激しい中での外部からの今後の事業継続・拡大への道筋へのアドバイス。
具体的には、公社の自走方法への組織課題の抽出、解決への道筋作り。
- 公社がサブシステムとして加盟自治体へのサービスとして実施していた水田システムの外販機会への道筋や市場への拡販方法・事業協力体制作り（競合社との協業案 や 類似事業者との協業紹介等）
- 他地域の広域連携の事例の紹介
- 公社を実務の核とした「地域連携によるデジタル活用推進に関する連携協定」への基礎組織の強化アドバイス（7市長村連携）



（デジタル活用の広域連携協定式）